

学校 教育 目標	「手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小」 ○手をつなごう 共生・共感・協働・コミュニケーション・国際理解・人権意識 【 徳・開 】 ○笑顔いっぱい 主体性・意欲・満足感・感謝・健康・持続可能性 【 知・体 】 ○大好き滝小 帰属意識・地域連携・郷土愛・社会参画 【 公 】 ○問題意識をもち、自ら進んでねばり強く学び続けることができる力を育てます。(知) ○感謝の気持ちやまわりの人への思いやりをもち、正しく行動できる力を育てます。(徳) ○自らの食生活や生活習慣に関心をもち、健やかな身体をつくろうとする力を育てます。(体) ○地域を大切に、進んで社会の役に立つ行動ができる力を育てます。(公) ○様々な人々とのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げる力を育てます。(開)				
	学校概要	創立 93 周年	学校長 鵜飼数夫	副校長 杉田 仁	2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 5
児童生徒数: 585 人		主な関係校: 岡村中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	岡村中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <心身ともにたくましく生きる力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	岡村中学校 岡村小学校 磯子小学校 滝頭小学校	○コミュニケーション能力の向上を通して、自分自身を大事にする気持ちや相手を思いやる気持ちのある子○友だちや地域の人たちと積極的に関わり、めあてや問題解決に粘り強く取り組む子 ・「育てる子ども像」に迫る授業研究会を年2回実施し検証及び情報交換。・児童生徒交流事業で小6の中1ギャップ解消。・学校代表が年3回、岡村中で協議会をもち小中一貫の意見交換とスケジュール調整。・小学校において一部教科担任制を導入した学習指導。・人権教育推進。・中学校AETが年3回ブロック内の小学校で英語指導。

中期 取組 目標	○「手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小」を子ども一人ひとりが実感できるように、活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。 ・多様性と共生を大切にして、豊かな人権感覚を育てる教育を推進します。 ・学びの楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ・クラスや学年の枠を越えて、相互に啓発・連携しつつ、全職員で全校の児童を育てる体制づくりを推進します。 ・家庭・地域と連携し、信頼される学校づくりを推進します。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①楽しく、わかる授業の充実を図り、達成感や成就感を数多く経験できるようにする。②基礎・基本の定着を図り、意欲をもって主体的に学ぶ子どもを育成する。③日々宿題を課し、採点・手直し・理解補強を積み重ね、家庭学習の充実や基礎・基本の定着を図る。
担当 学力向上委員会	
豊かな心	①仲間づくりを大切にした教育活動を実践する。②道徳教育・人権教育を充実させ、いじめの根絶に向けて取り組みを強化する。③「あいさつ」の意味を考え、日常に根付くよう取り組みを強化する。④教職員・児童の人権意識を高める校内研修を実施する。⑤いのちの学習を計画的に実践する。
担当 人権・福祉委員会	
健やかな体	①日々の給食指導を通じ、食の大切さを知らせる。②体感を鍛える本校オリジナルの「のびのびひまわりストレッチ」「滝小スマイル体操」を行い、よい姿勢や体づくりを目指すとともに、けがの予防に努める。③短縄跳び等を計画的に行い、運動の機会を確保し、体力(特に持久力)の向上を図る。
担当 体育部・健康教育委員会	
児童指導	①規範意識の定着を図り、集団の一員として生活できるよう、支援・指導する。②言葉で理解し合える関係づくりを目指し、暴力案件を減らす。学年経営・一部教科担任制を行い、全職員で個々に寄り添った指導体制を進める。④Y-Pアセスメント調査とそれに伴ったYP活動を年2回行う。
担当 児童指導委員会	
特別支援教育	①個別の教育支援計画・指導計画の作成とそれに基づいた特別支援教育の充実を図る。②個別支援学級運営の充実を図る(実態に応じた学習内容・学習形態の充実・啓発など)。③学習ルームや国際教室を開設し希望者の支援授業を実施する。④学習環境の充実を図る。
担当 特別支援教育推進委員会	
地域連携	①学校運営協議会と学校地域協働本部との連携により、地域の施設や団体との交流を推進し、総合・生活・社会科などの学習の中でタイアップしたり、夜間防犯パトロールを継続実施したりする。②地域の行事にクラブの子どもたちや学校教職員が参加し、地域の方々と交流を図る。
担当 総務・教務会	
自分づくり教育	①地域や身近な大人、仕事との交流を各学年やクラスごとに積極的に行い、学習の中で意図的に推進を行っていく。②各教科、領域で問題解決的な学習過程を大切にし、目標に向かって努力する実践的な態度を養う。③タブレット等を有効活用する。
担当 重点研推進委員会・キャリア教育	
国際理解教育	①国際教室では、生活・学習面ともに豊かで楽しい学校生活を送ることができるよう児童・家庭を支援する。②異文化を尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく資質や能力の育成を図る。③外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
担当 国際教室	
いじめへの対応	①いじめの定義に関する理解を周知徹底する。②道徳教育や人権教育の充実③いじめの根絶に向け、アンケートを実施し、未然防止や早期発見、早期解決に組織的に取り組む。④子ども・保護者の心情に深く寄り添った丁寧な対応を徹底する。⑤職員間の円滑な情報共有を行う。
担当 児童支援専任	
人材育成・組織運営 (働き方改革)	①毎週の学年研で互いの実践を情報交換し合い、授業・学級経営改善を行う。②年に3回程度は、管理職や先輩教師が、指導者、相談役としてメンターチームに関わる。③適材適所・抜擢により広く人材登用を行い、OJTを通して校務への参画意識を高める。④全学年で一部教科担任制を実施し、教材研究の時間を確保する。
担当 総務・教務会	

